

平成29年 9月22日

各位

ダイダン株式会社

社長の安全品質パトロールを実施

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、代表取締役社長：北野晶平、証券コード：1980）は、平成29年9月15日、神戸市のポートアイランドで建設中の「神戸アイセンター」作業所において、社長（北野晶平）による安全品質パトロールを実施しました。

神戸アイセンターは iPS 細胞を用いた網膜再生をはじめとする再生医療等の迅速な実用化を図るため、基礎研究から臨床応用、リハビリ（ロービジョンケア（※1））までトータルで対応する全国初の施設です。視覚障害者の方へのさまざまな配慮や機能が盛り込まれた最先端の建物であり、平成29年12月の開院にむけ急ピッチで工事が進められています。

冒頭、社長は、作業所職員を前に、「国家戦略特区プロジェクトとして、眼科医療分野の最先端施設の建設に携われる事は大変名誉な事であり、全社を挙げて取り組んでいる。皆さんも気概と情熱を持ってそれぞれの業務に当たって頂きたい。」と激励しました。その後の巡回では、吉田一也再生医療事業部長も同行し、施工中の安全品質面について職員と意見交換しました。

パトロール終了後、協力会社職長も交え、高所作業時の安全対策励行や輻輳作業における声掛け運動の徹底について確認しました。

（※1）ロービジョンケア

ロービジョン（低視力）とは、全盲ではないが眼鏡などで矯正しても視力が十分に得られず生活に不自由を感じている状態。これらの方々の実生活面での利便性を高めるためのリハビリテーション等をロービジョンケアと称します。

以上



パトロールを行う北野社長（左）



職員との意見交換の様子